

東燃ゼネラル石油株式会社

2015年12月期第3四半期決算概要

2015年11月13日

取引の記載・見通しに関する注意事項

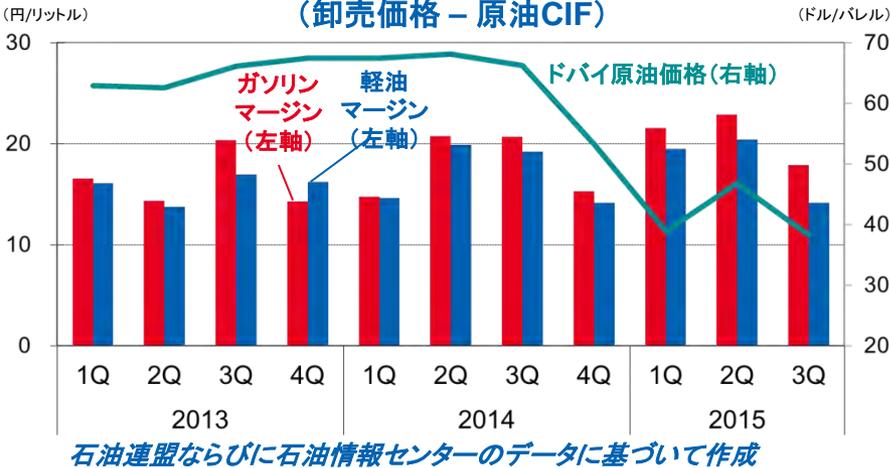
この資料に記載されている当社および当社グループ各社の事業に関わる計画、見通しについては、本資料作成時における当社の見通しに基づき記載しておりますが、日本および世界経済の動向、原油および製品価格、円ドルの為替レート、需給の変動に大きく左右される業界の競争状況などにより影響を受けます。これらの影響により、実際の業績は本資料で記載した見通しとは大きく異なる可能性があることにご留意ください。



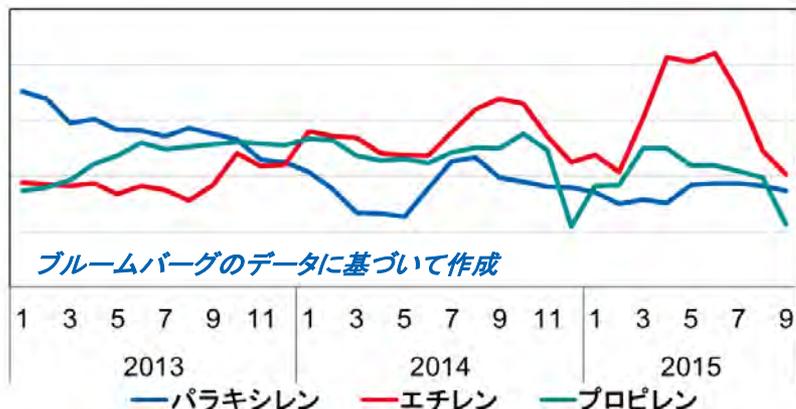
東燃ゼネラル石油株式会社

2015年7-9月期の事業環境

国内石油製品マージンの推移 (卸売価格 - 原油CIF)



石油化学品の対ナフサ スプレッド



石油事業

- 原油価格は急落、7-9月期末は4-6月期末比約17ドル/バレル下落
- 国内マージンは、8月まで下落も9月に回復へ
 - 特に軽油マージンは減少
- 主要5油種国内需要：前年同期比 -2.2%
 - ガソリン・中間留分：+0.7%
 - C重油は電力向け需要減少により -20.6%
- 輸出マージンは堅調も4-6月期より低下

石油化学事業

- エチレンマージンは、4-6月期の過去最高水準から前年並みの水準へ後退
- プロピレンマージンは、中国での事故に伴う流通規制の影響等により9月に急落
- 芳香族類マージンは、アジア域内での製造設備増設による需給緩和により引き続き弱含みで推移

2015年1-9月期決算概要

- 営業利益は101億円、前年同期比170億円増
 - 石油事業 : 601億円増、マージン改善による
 - 石油化学事業 : 75億円増、高いエチレンマージンが寄与
 - 在庫評価損益 : 504億円減で601億円の損失、原油・製品価格下落による
- 当期純利益は16億円、4-6月期のLPG事業のジクシス株式会社への統合に伴う特別利益(96億円)は税効果の影響等で相殺

(億円)	'14年1-9月期	'15年1-9月期	増減
売上高	26,184	20,438	-5,747
営業利益	-69	101	170
経常利益	-72	79	151
特別損益	-16	81	97
当期純利益	-90	16	105

(営業利益の内訳)

在庫評価損益	-97	-601	-504
のれん償却	-130	-131	-1
調整後営業利益	158	833	675
石油事業	10	611	601
石油化学事業	148	223	75

石油事業	
'14年1-9月期	10
・マージン	602
・数量	-4
・経費	3
'15年1-9月期	611

石油化学事業	
'14年1-9月期	148
・マージン/数量	83
・経費	-8
'15年1-9月期	223

2015年7-9月期営業利益増減の要因分析

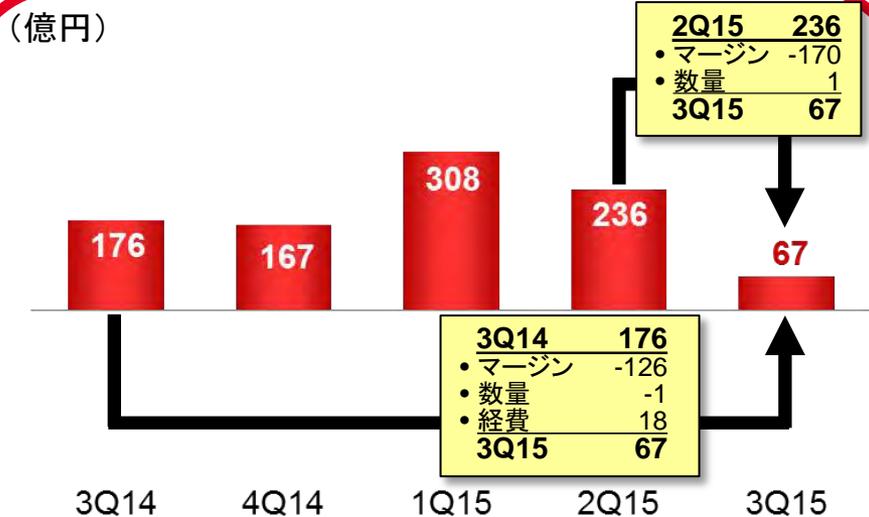
石油事業

- マージン環境は弱含むも、当社の優位性が利益を下支え
 - 戦略的な原油調達
 - 比較的マージンが堅調な国内ガソリン販売に注力
 - マージン環境に柔軟に対応した中間留分・ガソリンの輸出

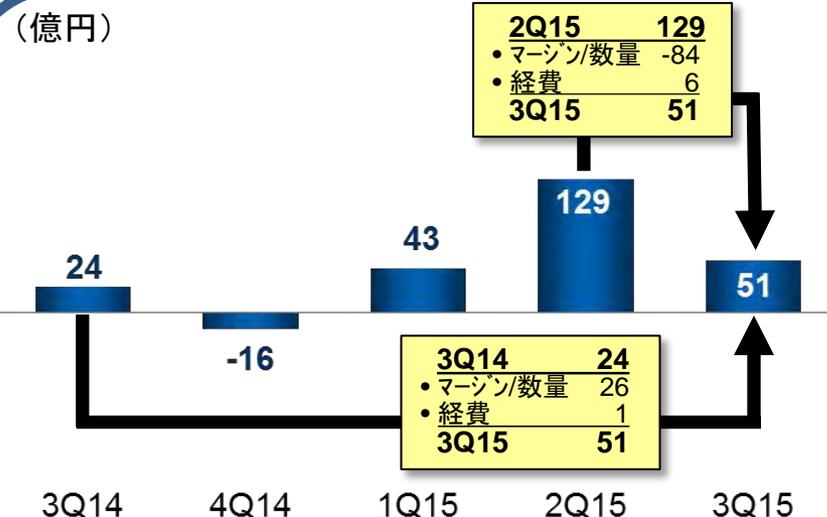
石油化学事業

- 主にオレフィンマージン下落により本年4-6月期比では減益

調整後営業利益の四半期比較(2014年7-9月期～2015年7-9月期)



石油事業



石油化学事業

販売数量*1

製品	'14年 1-9月期	'15年 1-9月期	増減	増減
石油製品 (千キロリットル)				国内全体
ガソリン	7,978	8,068	1.1%	-0.6%
灯油	2,009	1,824	-9.2%	-5.1%
軽油	2,980	2,855	-4.2%	-0.1%
A重油	1,116	934	-16.3%	-7.9%
C重油	1,701	1,594	-6.3%	-14.1%
LPG・ジェット・他	3,669	3,335	-9.1%	
国内販売合計 *2	19,454	18,610	-4.3%	
輸出	5,224	5,816	11.3%	
石油製品	24,678	24,426	-1.0%	
石油化学製品 (千トン)				
オレフィン類その他	1,130	1,197	5.9%	
芳香族類	602	650	8.1%	
特殊化学品	170	164	-3.6%	
石油化学製品	1,902	2,012	5.8%	
設備稼働率 *3 (常圧蒸留装置ベース)	81%	83%		国内全体 '15年 1-9月期 83%

- 石油製品の販売数量は国内向けの減少を輸出の増加で一部相殺
 - 堅調なマージン環境の下、国内のガソリンは増販
 - ガソリン・中間留分の輸出を強化
 - C重油は生産および輸出を抑制
- 石油化学製品の販売数量増加は前年7-9月期の定期修理の影響

*1 2014年の3月以前もMOCM(旧三井石油株式会社)を連結していたと仮定した場合の販売数量

*2 保税品販売は国内販売数量に含む

*3 廃棄済の常圧蒸留装置2基を除く当社グループ4工場の稼働率

2015年連結業績予想

- 2015年通期営業利益予想は120億円、8月発表時から200億円減少
 - 石油事業と石油化学事業は、8月発表時から変更なし
 - 在庫評価損益は200億円の損失増加、直近の原油・製品価格の軟化を織り込む
- 1株当たり年間38円の配当予想は変更なし

(億円)	'15 1-9月 実績	通期予想		8月発表比 増減
		8月発表	今回発表	
売上高	20,438	27,000	26,500	-500
営業利益	101	320	120	-200
経常利益	79	310	110	-200
特別損益	81	80	80	-
当期純利益	16	150	20	-130
(営業利益の内訳)				
在庫評価損益	-601	-450	-650	-200
のれん償却	-131	-170	-170	-
調整後営業利益	833	940	940	-
石油事業	611	680	680	-
石油化学事業	223	260	260	-

注) ドバイ原油価格
(46ドル/バレル)および、
為替レート(120円/ドル)が
2015年末まで継続する
前提で算出

キャッシュ・フロー、D/Eレシオ

- 1-9月期の調整後フリー・キャッシュ・フローは好調な業績を反映し976億円

➤ 1-9月期の揮発油税等の支払による一時的な影響を除外

- 1-9月期のネット借入は2014年末比249億円減少

	億円
フリー・キャッシュ・フロー	346
配当金の支払い	(133)
LPG事業の分割による影響	36
ネット借入（増加）/減少	249

- ネットD/Eレシオは、9月末の1.3から2015年末には1.2に改善の見込み

2015年1-9月期 キャッシュ・フロー（億円）

税引前純利益*1	665
減価償却費*2 / (固定資産の取得)	17
運転資本の変化、その他	294
調整後フリー・キャッシュ・フロー	976
揮発油税等の支払タイミングによる影響	-630
フリー・キャッシュ・フロー*3	346

期末のネット借入、自己資本およびD/Eレシオ（2012年 - 2015年）



*1 在庫評価損益、LPG事業のジクシス株式会社への統合に伴う特別利益を除く
 *2 のれん償却を含む
 *3 営業活動および投資活動によるキャッシュ・フローの合計
 *4 借入金から現金および現金等価物を差し引いて算出

補足資料

販売数量 (除く 2014年1-3月期 MOCM数量)

□ 売上高に相当する販売数量

製品	'14年*1 1-9月期	'15年 1-9月期	増減	増減
石油製品 (千KL)				国内全体
ガソリン	7,689	8,068	4.9%	-0.6%
灯油	1,776	1,824	2.7%	-5.1%
軽油	2,821	2,855	1.2%	-0.1%
A重油	1,069	934	-12.6%	-7.9%
C重油	1,649	1,594	-3.3%	-14.1%
LPG・ジェット・他	3,464	3,335	-3.7%	
国内販売合計	18,469	18,610	0.8%	
輸出	5,036	5,816	15.5%	
石油製品	23,505	24,426	3.9%	
石油化学製品 (千トン)				
オレフィン類その他	1,121	1,197	6.8%	
芳香族類	602	650	8.1%	
特殊化学品	170	164	-3.6%	
石油化学製品	1,893	2,012	6.3%	
設備稼働率	78%*2	83%*3		83%

*1 MOCM取得前の当社グループベース

*2 廃棄済の常圧蒸留装置2基を除く
当社グループ3工場の稼働率

*3 廃棄済の常圧蒸留装置2基を除く千葉工場を
加えた当社グループ4工場の稼働率

2015年連結業績予想の前提と感応度

□ 今回の業績予想の前提

主な項目	単位	前提	注記
ドバイ原油価格(FOB)	米ドル/バレル	46	2015年10月平均
為替レート	円/米ドル	120	2015年10月平均

上記前提は、売上高および在庫評価損益の計算に使用

□ 前提の変化に伴う利益への影響額(年間換算)

主な項目	単位	上昇幅	年間換算影響額(億円) 営業利益*1
ドバイ原油価格(FOB)	米ドル/バレル	10	270*1
為替レート	円/米ドル	10	- 220*1
石油精製マージン	円/リットル	1	370*2

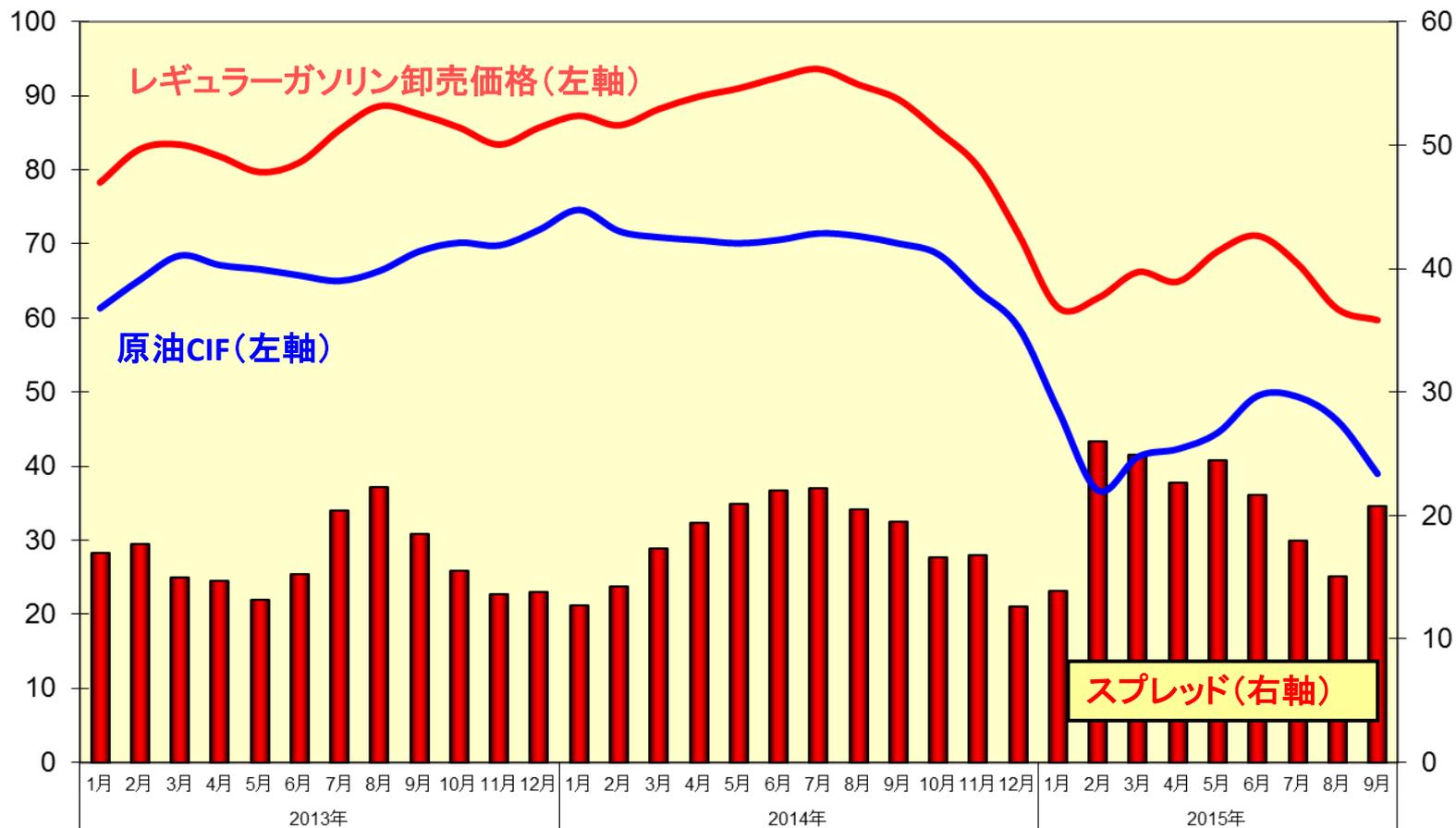
*1 在庫評価損益の影響のみ。原油価格変動のタイミングや在庫数量によっては異なる結果となりうる

*2 営業利益への年間影響額は10億円単位の概算であり、販売数量の増減によっては異なる結果となりうる

価格スプレッド (ガソリン卸売価格－原油CIF)

(円/リットル)

(円/リットル)

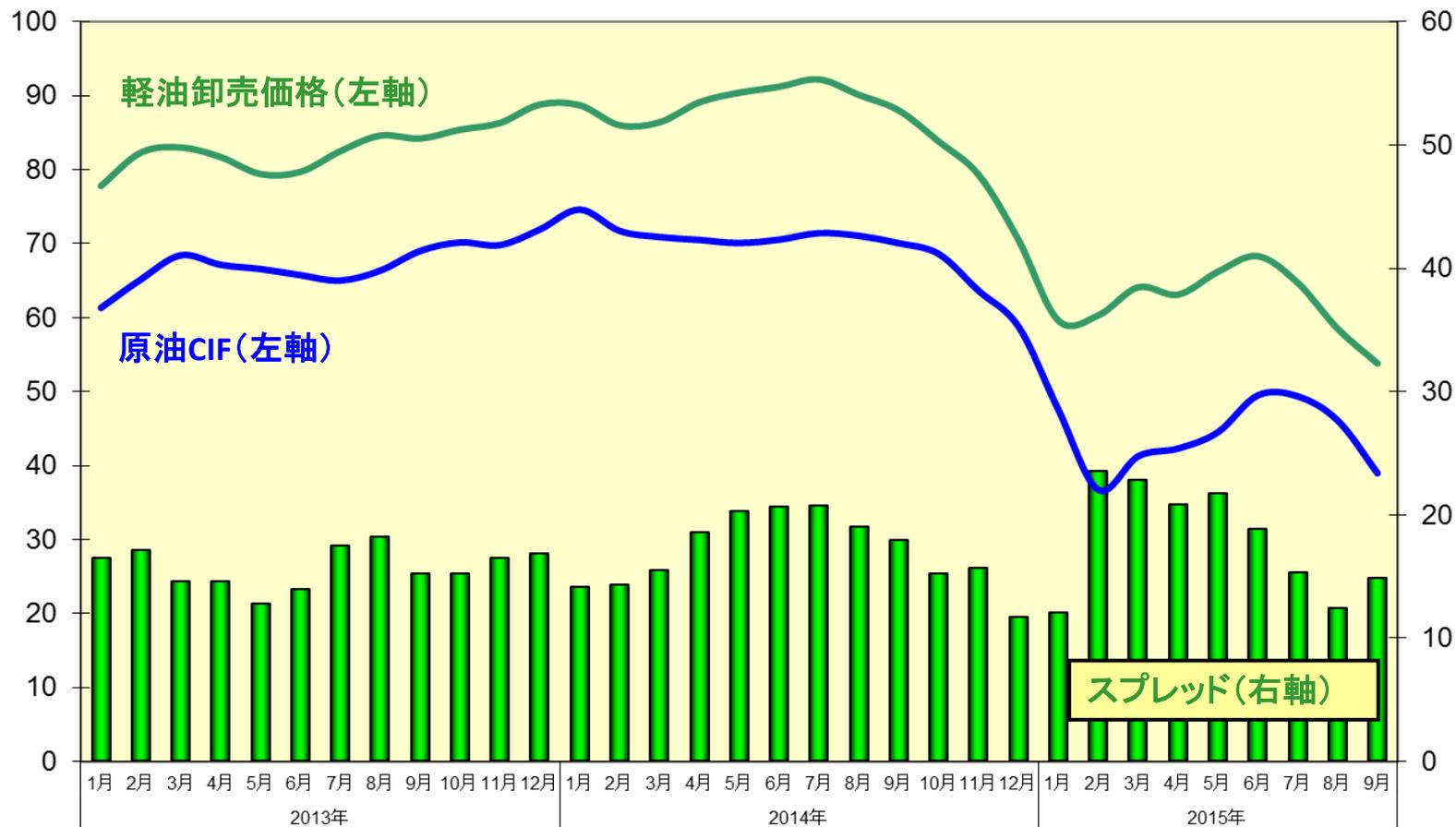


注: 石油連盟ならびに石油情報センターのデータに基づいて作成

価格スプレッド（軽油卸売価格－原油CIF）

(円/リットル)

(円/リットル)

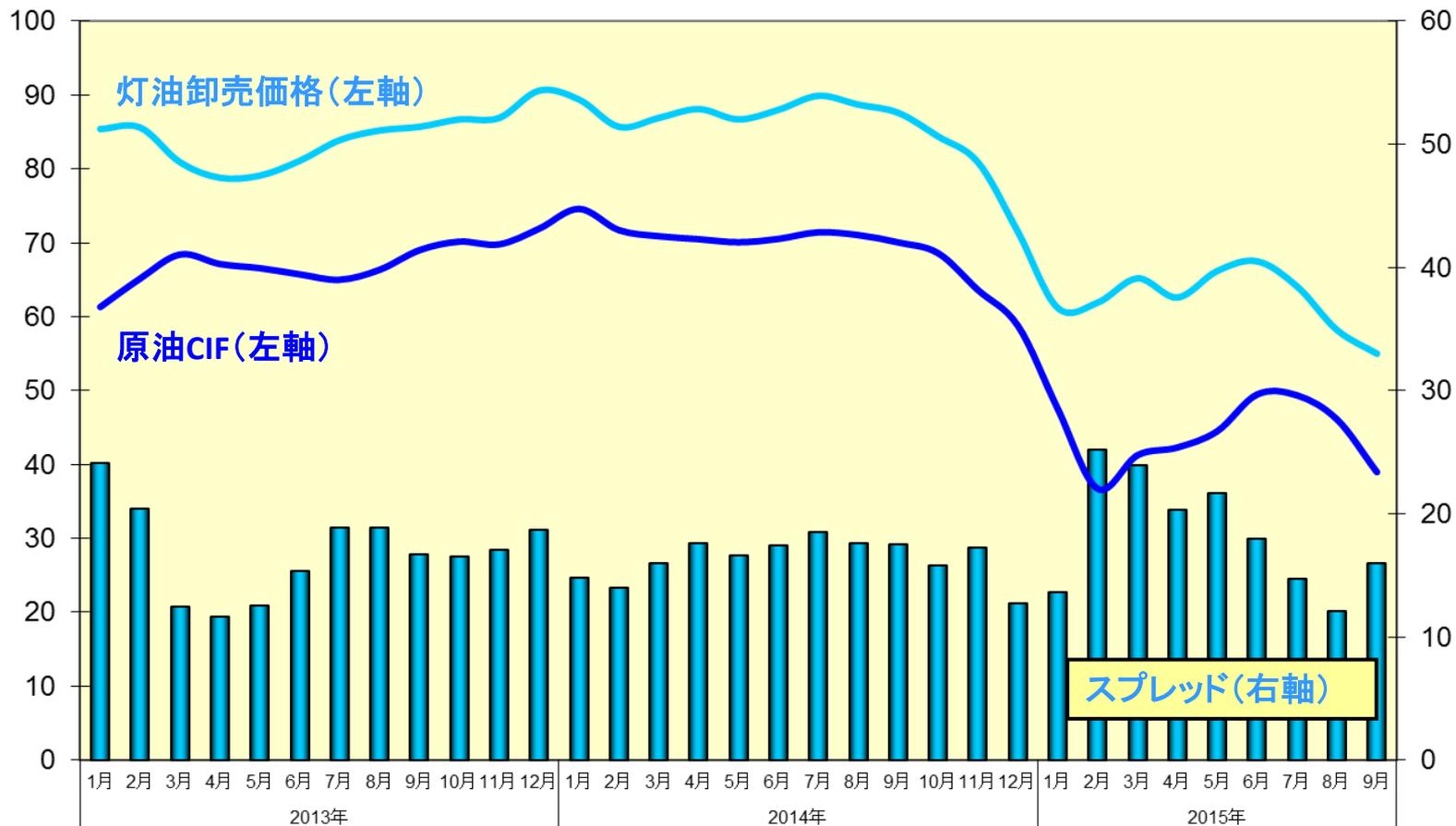


注：石油連盟ならびに石油情報センターのデータに基づいて作成

価格スプレッド（灯油卸売価格－原油CIF）

(円/リットル)

(円/リットル)



注: 石油連盟ならびに石油情報センターのデータに基づいて作成

営業利益内訳 (2013年 – 2015年7-9月期)

2015年

(単位: 億円)

営業利益内訳	'15 1-3月期	'15 4-6月期	'15 7-9月期	'15 10-12月期	'15 通期	'15 1-6月期	'15 1-9月期
石油部門 (実質)	308	236	67			544	611
石油化学部門 (実質)	43	129	51			172	223
在庫評価損益	-450	228	-380			-221	-601
のれん償却	-44	-44	-44			-87	-131
総合計	-142	549	-306			407	101

2014年

営業利益内訳	'14 1-3月期	'14 4-6月期	'14 7-9月期	'14 10-12月期	'14 通期	'14 1-6月期	'14 1-9月期
石油部門 (実質)	-173	6	176	167	177	-166	10
石油化学部門 (実質)	78	45	24	-16	132	123	148
在庫評価損益	1	-36	-62	-768	-865	-35	-97
のれん償却	-42	-44	-44	-44	-173	-86	-130
総合計	-136	-28	95	-660	-729	-164	-69

2013年

営業利益内訳	'13 1-3月期	'13 4-6月期	'13 7-9月期	'13 10-12月期	'13 通期	'13 1-6月期	'13 1-9月期
石油部門 (実質)	136	-105	58	-72	17	31	89
石油化学部門 (実質)	76	29	39	63	206	105	143
在庫評価損益	257	1	132	79	470	259	390
のれん償却	-42	-42	-42	-42	-169	-85	-127
総合計	427	-118	186	28	523	309	495